

2/2 第3回課題調査部会の審議を受けたまとめ(案)

2/19 第3回
運営部会意見

地域コミュニティの活性化

- ・ 武蔵小杉駅周辺を中心に子育て世代の転入人口増加
- ・ 町内会・自治会の高齢化、加入率の減少、担い手不足
- ・ 区民の目を地域に向け、地域活動への参加を促進
- ・ 住民交流、相互理解の推進、地域の結束・連携強化

みんなで取り組む

- ・ 区内の地域活動の状況が情報共有されていない。一般区民に知られていない。
- ・ 住民、大型集合住宅、商店、工場、企業、団体などが、区一丸となって取り組む
- ・ 地域団体を励まし、支援、ネットワーク化や情報の共有化を図り、より力を発揮できる環境を整備
- ・ 地域の新たな担い手を発掘し、育てる
- ・ 障害者や外国人市民など、マイノリティとも共に取り組み、地域の絆を深め、支え合える地域を実現

まちをきれいにする

- ・ 全体的にきれいなまちになってきているが、落書き、ごみ排出マナーの悪い集積所など課題箇所が存在
- ・ 地域を自らの手できれいにし、守っていく気運を区民の中で高める
- ・ ごみ、景観など環境面の取組だけでなく、区民の心の交流も図り、地域への愛着や誇りを育む

前提

課題

既存の活動団体の活動実態や課題・工夫の把握

課題解決の方向性

**現状調査による既存の活動の実態、地域の資源や課題箇所の把握
→取組へのアプローチ**

取組提案

「きれいなまちづくり活動」アンケート調査
地域環境改善やコミュニティづくりの既存の活動の現状、課題や工夫等を調査
対象：市民活動センター、まち協、工場協会、町内会、商店街、学校・幼稚園など
優良箇所・要改善箇所の情報収集、取組のPR・推進等につなげる

実践

課題

正しい分別法や再資源化の効果の分かりにくさ

分別意識の低い区民の存在

課題解決の方向性

楽しく学べる場、体験できる場の創出

子ども世代から親・祖父母世代までターゲットを幅広く取り込む

児童福祉施設や教育施設との連携

取組提案

仕分けの達人ゲーム
わかりにくいごみの分別を楽しみながら学べるツールづくり(既存のごみ分別学習をアレンジ)
イベントや環境教育、ごみ減量指導員活動等を通じて、普及啓発

啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」美化・リサイクル版
人形劇団ひとみ座の人形劇で、ごみの分別・リサイクルの啓発分別やリサイクルの意味、地域愛など、児童に分かりやすく伝える就学前児童を対象としたイベント、子育てふれあいカフェ等で展開

「きれいなまち」を幅広く捉える

既存の多様な活動が連携できていない

多様な団体の活躍・連携の場の形成

区の木・花を活用した「きれいなまちづくり」の担い手育成
区の木・花の周知・PR(例：プランター配布、樹木名札の設置)公園樹木や花壇、街路樹の管理団体の立上げ支援、担い手の育成区内の既存の活動との連携、交流、ネットワーク化

既存活動の認知度の低さ情報・ノウハウの共有

**活動に対するPR活動情報の体系化及び共有
活動の表彰**

取組提案

「きれいなまちづくり活動」啓発看板の設置
地域の課題箇所、優良箇所に啓発看板を設置
模範的な地域やごみ集積所への課題解決の工夫等の掲示や維持する活動への支援
デザインは訴求力の高いものを検討(例：公募、フロンターレの選手起用など)

推進

課題

**参加者が限定的
区全体で気運を高める**

課題解決の方向性

**取組全般を周知・推進
多様な区民の目に触れ、多様な区民が参加する
機会の創出**

取組提案

「きれいなまちづくり活動」キャンペーン
上記取組がより多くの区民の目に触れ、体験できる場としてイベント等での展開
活動団体の情報・ノウハウのPR・周知を目的とした情報発信(冊子、HP、区民会議だよりなどの既存の広報の効果的な活用を検討)

「よりきれいな地域の実現」を目指した取組の実施(ごみ問題や環境 地域への意識・知識を深めて行動・参加につなげる)

「地域」コミュニティの結束・連携を深め、地域の活性化を図る

- アンケート調査の実施自体も啓発になる
- 中原区なりのアレンジが重要だ
- 子育てサロンやふれあい会食会(老人いこいの家)でミニ講座など実施してはどうか
- 認定や表彰に区の花や木を活用してはどうか
- 分かりやすい仕組みにすれば、誰でも講師になれる
- 上演の機会や場を拡大できると更に良い
- インターナショナルフェスティバル inかわさきなどはどうか
- 分別したごみの行方までふれてほしい
- 動画記録して、ネット上公開してはどうか
- 既存の活動のネットワークづくりをもっと強調したい
- 緑や花関係の団体だけと捉われてしまわないか心配
- 活動する姿を見せることも広報・啓発(落書き消しで実感)
- メディアに取り上げられる工夫が必要
- 区民の目に触れる機会を地道に増やす

課題解決に資する提案のまとめ



取組提案の絞り込みに向けた検討事項の整理

取組提案(資料2・③～⑪抜粋)

③ **ごみ分別検定・名人認定、仕分けの達人ゲーム**
ごみ分別のクイズ。合格者を認定し、表彰など行う。
合格者とごみ減量指導員が連携し、正しい分別法の周知・徹底に取り組む
「ごみ分別釣りゲーム」 中原区版の作成 → イベントや環境教育の場で活用

④ **スポーツGOMI拾い**
ごみ拾いをイベント化、スポーツ化して、多世代で楽しく取り組む
成果を競い合う

⑤ **モデル集積所**
仕分けがしやすいごみ箱の設置
分かりやすい掲示、回収スケジュールの表示など、模範的な集積所の設置や展示

⑥ **啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」(美化・リサイクル版)**
人形劇団ひとみ座・フロンターレのコラボによる人形劇で啓発
区内児童施設や学校、イベントで展開

⑦ **区の木(モモ)・区の花(パンジー)を活用した「きれいなまちづくり」【運営部会】**
パンジーのプランターの配布・設置、
散歩道や緑・環境関係の活動との連携等

⑧ **「区民の心が美しいまち」世代交流、落書き消し、挨拶運動の推進・強化【運営部会】**
既存の挨拶・声かけ運動、落書き消し活動等の連携・拡大

⑨ **地域住民による緑の愛護・運営管理組織立ち上げの推進【事務局】**
公園管理運営協議会・街路樹愛護会等が未設置箇所での組織化の推進
地元企業との連携等の推進(新たな担い手の確保)

⑩ **「きれいなまちづくり活動」啓発看板**
地域の課題箇所(重点取組箇所)、優良箇所に啓発看板を設置
デザインは公募等とする。

⑪ **「きれいなまちづくり活動」情報誌の発行、アワード、コンクール・作品展**
活動団体の情報・ノウハウのPR・周知、表彰など
標語やポスター、児童画、写真等の作品募集 → 表彰のコンクール、
区民の目に触れる場での作品展の開催

要検討課題(例・事務局案)

○ 出題内容やゲームのしくみ・ルール等の検討
○ 実施場所やメインターゲットの決定

○ 適切な開催場所の設置(ゲームを成立させる程度のごみ量の有無、廃棄方法等)
○ ルールのアレンジ(区でやりやすい形)のしかた・手法

○ 設置場所・設置時期(常設/仮設等)の検討(費用面も含む)
○ 設置に関する規制・ルールの有無及び設置許可等に関する手続き、手法等
○ 仕分けしやすく、わかりやすくする方法
○ 汎用性を高める方法(異なる住環境等)

○ 既存の事業の効果をさらに高め、広める方法(展開場所、担い手の拡大など)

○ 既存の実施団体との連携とその方法
○ 区の木・区の花の活用方法(親しみをもってもらうにはどうするかなど)

○ 既存の実施団体との連携とその方法
○ 新たな参加者の獲得方法
○ 交流の方法

○ 新たな担い手とは誰か(町会以外、団体、企業など)
○ 担い手を確保するための働きかけ方法

○ 看板・掲示の掲載内容
○ 設置に関する規制・ルールの有無及び設置許可等に関する手続き、手法等
○ 公募の方法、決定方法

○ 効果的・効率的な媒体の検討(紙媒体か周知手法・費用面など)
○ 編集・演出の担い手・方法
○ 作品募集の内容・作品展の開催場所など

絞り込みに向けて参考確認ポイント

ポイント1
検討テーマとの整合性・一貫性
・「地域コミュニティ」の連携
・「みんな」の参加しやすさ
・まちの「きれい」の創出
または、「欠点」の改善

ポイント2
実現性・実行性の向上
・担い手の確保
区民・地域主体/行政と協働
具体的な担い手確保の見込み
労力や負担の分担
・期待できる効果の高さ
区全体への展開
次の展開への発展性
・継続性の見込み
継続性の確保
・経費・予算の確保
予算規模と財源確保
費用対効果、経費削減の工夫

ポイント3
その他
・既存の取組との関係
類似取組の有無や連携の可能性
・目標の設定
目指すものの明確さ
具体的な目標設定
区民へのアピール力
・中原区らしいか
区特有の課題の解決
区特有の資源の活用
・提案全体のバランス
テーマ等のバランス・一貫性
他の取組との関係・組合せ

4・5つ程度の
提案への絞り込み

バランス・実効性

提案①

提案②

提案③

提案④

提案⑤

推進にむけた検討

・目標 ・イベント
・広報(キャンペーン)

「よりきれいな地域の実現」を目指した取組の実施(ごみ問題や環境、地域への意識・知識を深めて行動・参加につなげる)

「地域」コミュニティの結束・連携を深め、地域の活性化を図る